



接合作業の様子

分けられた土器片をジグソーパズルのように組み合わせていきます。



復元作業の様子

破片の足りない部分に、水で溶いた石こうを、パティシエがケーキをつくるように塗り込みます。



写真撮影・報告書掲載

「かごしまの遺跡」は、ホームページからダウンロードできます。
(公財)埋蔵文化財調査センターのホームページは、上野原縄文の森 (<https://www.jomon-no-mori.jp>) または、鹿児島県文化振興財団 (<https://www.houzanhall.com/zaidan/>) からお入りください。

検索キーワード
上野原縄文の森 | 検索



復元の準備へ

ここまでつながりました。いよいよ全体の形の復元をしていきます。



復元終了

復元された土器は、全体の形や文様がわかり、遺跡の年代や性格などを考えるための貴重な資料となります。



展示風景

復元された土器は、石こう部分に色を塗り、写真を撮影して報告書に掲載します。報告書の刊行後は、展示にも活用されます。

～かごしまの遺跡～ 第23号
発行日 令和3年1月12日
編集・発行 (公財)鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター
〒899-4318 鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森2番1号
TEL.0995-70-0574 FAX.0995-70-0575
URL:<https://www.jomon-no-mori.jp>
E-mail: maibunchosa@tuc.bbiq.jp



公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 埋蔵文化財調査センター

かごしまの遺跡

第23号

令和3年1月12日

北山遺跡 (阿久根市山下)

～よみがえる古代の“あくね”～



北山遺跡では、平安時代(約1,100年前)、鎌倉・室町時代(約400～800年前)を中心とした遺構・遺物が発見されています。今回の調査では、大型の掘立柱建物跡や土坑などが発見されています。

また、平安時代の土師器・須恵器、鎌倉・室町時代の中国産陶磁器や国産の石鍋・石臼などが出土しており、当時の人々の生活を知る貴重な発見がありました。

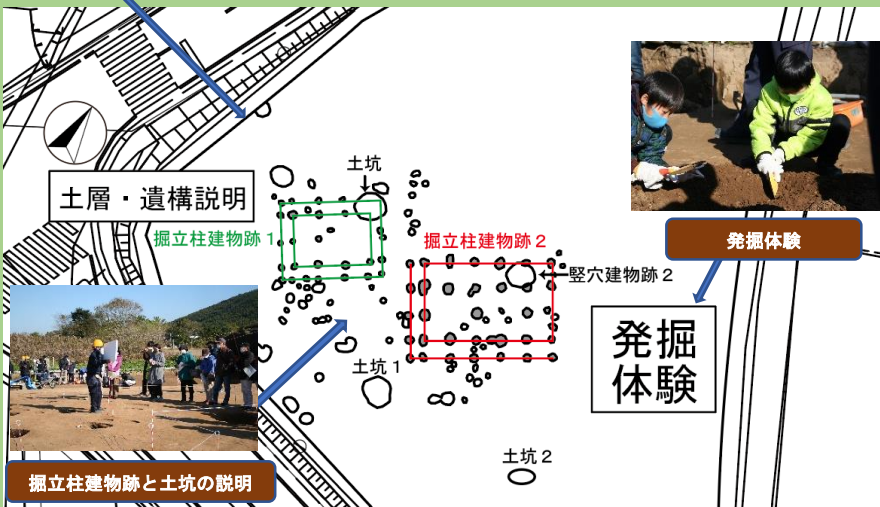
12月5日(土)には現地説明会を実施しました。今回の現地説明会は、新型コロナウイルス感染防止のため、やむを得ず開催のお知らせを遺跡の所在する阿久根市に限らせていただきましたので、この紙面で概要をご紹介します。

北山遺跡の現地説明会



地層の中に、火山灰の堆積があることを説明しました。北山遺跡では、鬼界カルデラ起源のアカホヤ火山灰（約7,300年前）より上の地層で平安時代から室町時代にかけての遺構・遺物が発見されています。

北山遺跡の周辺には、中世の城跡や寺院跡などがあったことを説明しました。



掘立柱建物は、平安時代から室町時代のもので、柱の配置からそれぞれ構造に違いがあること、土坑の性格は不明ですが、井戸やトイレなどの可能性も考えて調査を進めていることなどについて説明しました。



出土遺物の展示

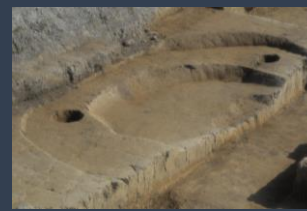
展示説明

土器洗い体験

北山遺跡の調査で発見されたばかりの遺物（土器・国産の陶器・中国から輸入された磁器・石鍋など）を展示しました。また、あわせて西回り自動車道建設に伴って調査が行われた山ノ段・六反ヶ丸・中郡遺跡群・外畠の各遺跡（出水市）で出土した遺物についても展示しました。それぞれの遺物について、職員による説明も行いました。

北山遺跡の現地説明会には、約130名の見学者にご来場いただきました。見学者からは、「このような遺跡があることを初めて知り、感動しました」「発掘体験で土器を発見できてよかった」などのお声をいただきました。

六反ヶ丸遺跡（出水市六月田町）



六反ヶ丸遺跡は、平成29年から発掘調査が開始され、これまでに4回の調査が行われました。主に古墳時代（約1,700年前）の竪穴建物跡や土坑などが発見されています。

また、高塚や壺などの土器を中心とした多種多様な遺物が多く出土しました。出土した土器の特徴から、島原半島・八代海周辺の天草諸島などとの文化交流が考えられています。

発掘調査で発見された土器を復元するまで

埋蔵文化財調査センターでは、発掘調査を行った遺跡を記録に残すために、遺構・遺物を整理して、報告書を作成しています。

整理作業の中の一つに土器の復元作業があります。復元作業は、土器が使われていたときに、実際にどのような形や大きさをしていたのか、どのような文様の配置になっているのかなどについて明らかにするために重要なものです。今回は、発掘調査で土の中から発見された土器が復元されるまでの流れを説明します。



発掘調査での遺物出土状況

調査ではほとんどがバラバラの状態で見られます。



水洗いの様子

こびりついた土・砂などをていねいに洗い流します。



注記作業の様子

発見された地点・通し番号・層について直接書き込みます。



土器を分ける

遺物の形や種類、部位をもとに分けていきます。



土器の観察

ペンライトを当ててみると、通常では見えにくい文様がクッキリと現れました。色・厚さ・文様などの雰囲気よく似た土器を集めて作業を進めます。